

# 2023

## Interim Mini Disclosure

HOKUHOKU REPORT

ミニディスクロージャー誌 2024年3月期・営業の中間ご報告



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
Hokuhoku Financial Group, Inc.



取締役社長 中澤 宏  
(北陸銀行 頭取)



取締役副社長 兼間 祐二  
(北海道銀行 頭取)

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ各社に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌(2024年3月期・営業の中間ご報告)」をお届けいたします。本誌では、2023年度中間期の業績ならびに各種取り組みについてご紹介しております。

さて、当社グループが根差す地域を取り巻く環境を見ますと、経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善から個人消費も緩やかに回復するなど、全体として持ち直しの動きが見られます。

一方で、諸外国における緊張感の高まりや、欧米を中心としたインフレの長期化懸念、資源価格の高騰や急激な円安を背景とした国内の幅広い物価上昇など、不透明な要素もあります。世界的な金融引き締めの中、国内の金融政策も段階的に見直しが行われており、引き続き金融資本市場の動向を注視していく必要があります。

こうした中で、当社グループは、2022年4月よりスタートした第5次中期経営計画『Go forward with Our Region』(2025年3月まで)に取り組んでおります。2023年度に入り、SX、DX、人的資本経営といった重点分野について専担部署を新設し、取り組みを加速させております。

当社グループの各種サービスや機能をご提供することで、お客さまに必要な価値を提供することが、地域社会の持続的な発展に寄与すると考えております。地域社会やお客さまの課題解決を起点として、地域の持続的成長へ貢献すべく、役職員一丸となって取組んでまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2023年12月

## 経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

### 地域共栄

社会的使命を实践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

### 公正堅実

公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

### 進取創造

創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

## 目次

ごあいさつ	01
長期ビジョンと中期経営計画	02
業績ハイライト	03
グループの概要	07
ネットワーク	08
ESG・SDGsへの取り組み	09
お知らせ	13
株式のご案内	14

## 長期ビジョンと長期戦略

### 長期ビジョン | 課題解決を通じて地域・お客さまとともに持続的成長を実現する

ほくほくフィナンシャルグループは、長期ビジョンを実現するため「課題解決力進化」「経営基盤構築」「企業風土醸成」の3つの長期戦略を進めてまいります。

## 中期経営計画の概要

# 『Go forward with Our Region』 2022年4月～2025年3月

**位置づけ** | 長期ビジョンの実現に向けて、コンサル対応力の向上やDXの推進等による生産性の向上に取り組むとともに、環境分野など新たな事業領域に挑戦する期間

ほくほくフィナンシャルグループは、各ステークホルダー（地域社会、お客さま、株主の皆さま、従業員等）の当社グループに対する期待・ニーズにしっかりと応えるため、課題解決力の強化やビジネスモデル変革に挑戦してまいります。

### 6つの重点戦略



### 重点指標

連結/2行合算	2023年度中間期末実績	2024年度(計画最終年度)	長期目標(10年後)
連結当期純利益	160億円	250億円以上	350億円以上
連結自己資本比率	9.57%	9%台後半	12%以上
OHR	66.27%	60%台前半	50%台
非金利収入比率 (非金利収入額)	17.06% (98億円)	16%台 (200億円以上)	18%以上 (250億円以上)
環境関連投融資実行額(累計)	1,882億円	2,100億円	7,000億円

※OHR、非金利収入比率(額)、環境関連投融資実行額は2行合算

## 営業の概況

## ■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位:億円)

	2023年 9月期	前中間期比	2022年 9月期
経常収益	961	△ 8	969
経常利益	141	△ 4	145
親会社株主に帰属する中間純利益	160	67	93
自己資本比率	9.57%	△ 0.04%	9.61%

## ■ 北陸銀行・北海道銀行 &lt;2行合算&gt;

(単位:億円)

	2行合算		
	2023年 9月期	前中間期比	2022年 9月期
経常収益	886	△ 17	904
コア業務粗利益	579	△ 57	637
経費(臨時処理分を除く)	383	5	378
コア業務純益	195	△ 63	258
除く投信解約損益	191	△ 60	251
与信費用	△ 32	△ 99	67
経常利益	149	△ 3	153
中間純利益	174	67	106

(単位:億円)

	北陸銀行		
	2023年 9月期	前中間期比	2022年 9月期
経常収益	502	△ 27	530
コア業務粗利益	323	△ 22	345
経費(臨時処理分を除く)	201	0	201
コア業務純益	121	△ 22	144
除く投信解約損益	117	△ 19	137
与信費用	△ 6	△ 88	81
経常利益	109	47	61
中間純利益	120	78	42
自己資本比率	9.18%	△ 0.18%	9.36%

(単位:億円)

連結経常収益は、有価証券利息配当金の減少や、株式等売却益の減少により減少しました。連結経常費用は、海外金利の上昇を主因に資金調達費用が増加し、国債等債券売却損も増加しましたが、貸倒引当金繰入が戻入に転じたことなどから、減少しました。

この結果、経常利益は減少しましたが、親会社株主に帰属する中間純利益は、退職給付信託解約益の計上と税金費用の減少により増加しました。

北陸銀行では、コア業務粗利益は、資金利息の減少を主因に減少しました。経常利益は、外国証券の売却にともない国債等債券損益が減少したものの、与信費用が減少したため増加しました。中間純利益は、法人税等の減少により増加しました。

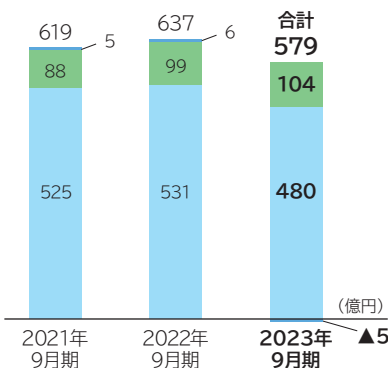
北海道銀行では、コア業務粗利益は、資金利益の減少を主因に減少しました。経常利益は、与信費用の戻り益が増加したものの外国証券の売却により国債等債券損益が減少したことから減少しました。中間純利益は、退職給付信託解約に伴う特別利益を計上しましたが前中間期比では減少となりました。

	北海道銀行		
	2023年 9月期	前中間期比	2022年 9月期
経常収益	384	10	374
コア業務粗利益	256	△ 35	291
経費(臨時処理分を除く)	182	4	177
コア業務純益	74	△ 40	114
除く投信解約損益	74	△ 40	114
与信費用	△ 25	△ 10	△ 14
経常利益	40	△ 50	91
中間純利益	53	△ 10	63
自己資本比率	9.19%	0.11%	9.08%

## 損益の状況

## ■ コア業務粗利益&lt;2行合算&gt;

■ その他  
■ 役員取引等利益  
■ 資金利益



資金利益 **480**億円

海外金利上昇による外貨調達費用の増加により、前中間期比50億円減少しました。

役員取引等利益 **104**億円

法人コンサル手数料の増加、ローン保険料・保証料の減少により、前中間期比5億円増加しました。

その他 **▲5**億円

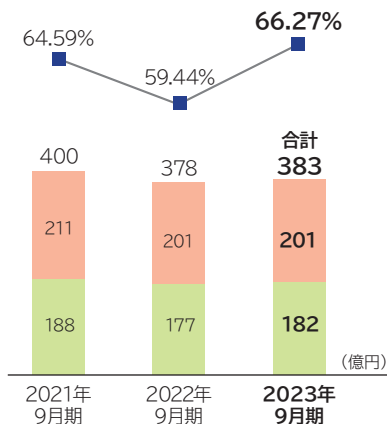
外国為替売買損益の減少により前中間期比12億円減少しました。

コア業務粗利益 **579**億円

上記の結果、前中間期比57億円減少しました。

## ■ 経費&lt;2行合算&gt;

■ 北陸銀行  
■ 北海道銀行  
■ OHR

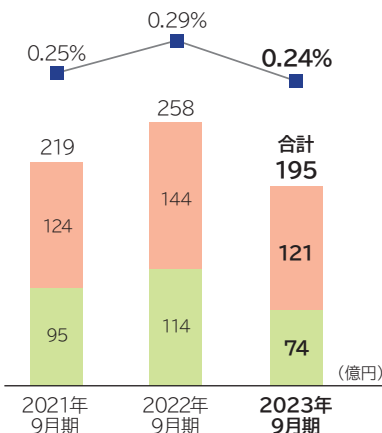


経費 **383**億円

人事制度改革による給与の増加と事務委託費及び給水光熱費の増加などにより、前中間期比5億円増加しました。

## ■ コア業務純益&lt;2行合算&gt;

■ 北陸銀行  
■ 北海道銀行  
■ ROA

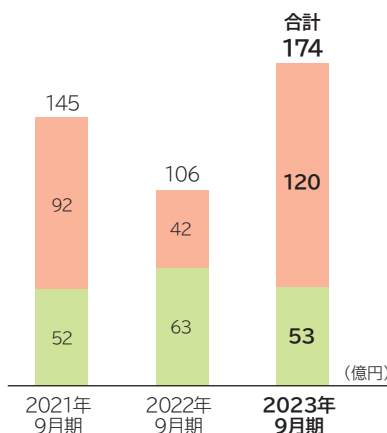


コア業務純益 **195**億円

資金利益の減少と役員取引等利益の増加、及び経費の増加により、前中間期比63億円減少しました。

## ■ 中間純利益&lt;2行合算&gt;

■ 北陸銀行  
■ 北海道銀行



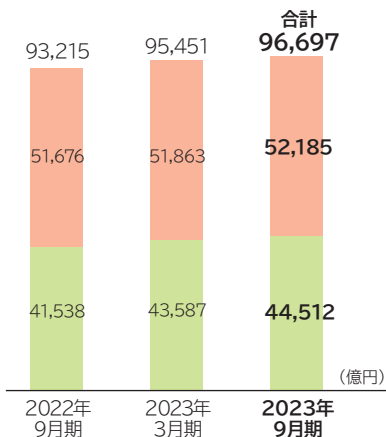
中間純利益 **174**億円

与信費用が減少する一方、外国証券の売却により国債等債券損益が減少したことを主因に経常利益は減少しましたが、中間純利益は退職給付信託解約益を計上したことや法人税等の減少により、前中間期比67億円増加しました。

## 貸出金・預金等の状況

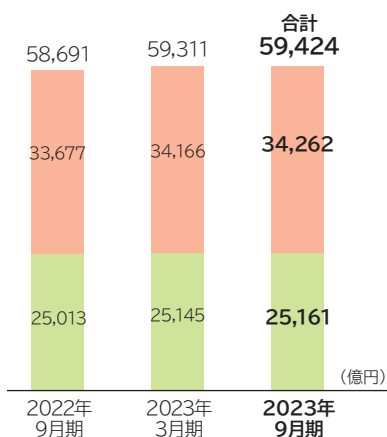
## ■ 貸出金&lt;2行合算&gt;

北陸銀行  
北海道銀行



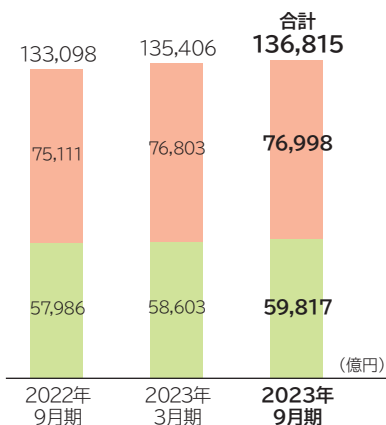
## ■ 中小企業等貸出&lt;2行合算&gt;

北陸銀行  
北海道銀行



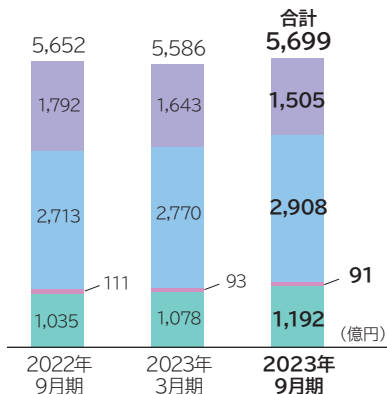
## ■ 預金(含む譲渡性預金)&lt;2行合算&gt;

北陸銀行  
北海道銀行



## ■ 個人向け投資型金融商品&lt;2行合算+ほくほくTT証券&gt;

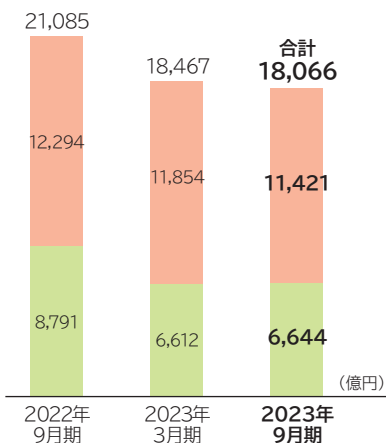
公共債  
投資信託  
外貨預金  
ほくほくTT証券



## 有価証券残高・健全性の指標

## ■ 有価証券残高&lt;2行合算&gt;

北陸銀行  
北海道銀行

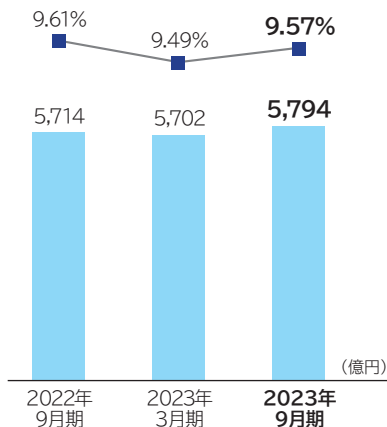


有価証券残高  
**1兆8,066億円**

国債および外国証券の減少により、2023年3月末比401億円減少しました。

## ■ 自己資本比率&lt;FG連結&gt;

自己資本  
自己資本比率

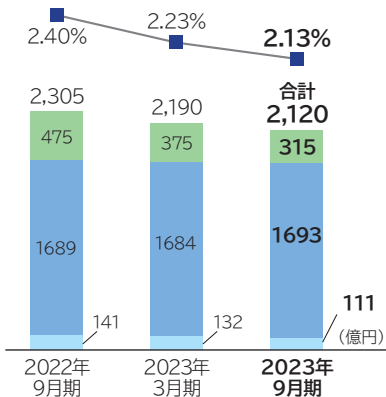


自己資本比率  
**9.57%**

利益剰余金を積み上げる一方、普通株式の一部取得をいたしましたこととリスクアセットの増加により、前中間期末比0.04ポイント低下の9.57%となりました。

## ■ 金融再生法開示債権&lt;2行合算&gt;

要管理債権  
危険債権  
破産更生債権及びこれらに準ずる債権  
開示債権比率



金融再生法開示債権  
**2,120億円**

2023年3月末比70億円減少しました。

開示債権比率  
**2.13%**

開示債権の減少により2023年3月末比0.10ポイント低下しました。

## ■ 格付

格付投資情報センター  
**R&I**



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」の格付も取得しています。

## 銀行持株会社



■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 125,370,814株  
第1回第5種優先株式 64,469,000株

## 取締役の役職および氏名

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	中澤 宏	取締役(社外)	横井 裕
取締役副社長	兼間 祐二	取締役監査等委員(常勤)	北川 博邦
取締役	小林 正彦	取締役監査等委員(社外)	眞鍋 雅昭
取締役	高田 芳政	取締役監査等委員(社外)	鈴木 伸弥
取締役	坂本 嘉和	取締役監査等委員(社外)	舟本 馨
取締役	坂井 章	取締役監査等委員(社外)	小川万里絵

■ 従業員の数 兼務者142名

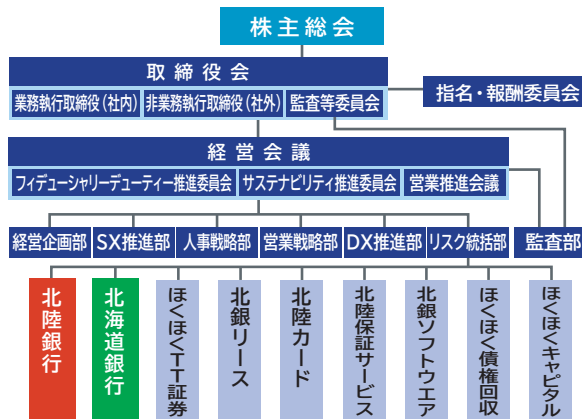
■ 設立日 2003年9月26日

## ■ 各組織の構成および役割等

取締役会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、当社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。5名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。
監査等委員会	監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等に関する意見の決定等を行います。
指名・報酬委員会	取締役・経営陣幹部の人事・報酬に関する事項への助言・関与等を行います。取締役3名以上、うち過半数を社外取締役で構成し、委員長は社外取締役の中から選定することで、独立性を確保します。
経営会議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。
サステナビリティ推進委員会	グループのサステナビリティ経営の方向性や戦略、リスク管理について検討します。
営業推進会議	グループ子会社の営業の方向性や戦略、連携強化について検討します。
フィューチャー・リーダー・懇話会	グループの顧客本位の業務運営の実践状況を確認・評価し、必要な対応・改善策について検討します。

名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ  
本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号  
業務の内容 1.傘下子会社の経営管理および附帯業務  
2.その他銀行法が認める業務

## ■ 組織図



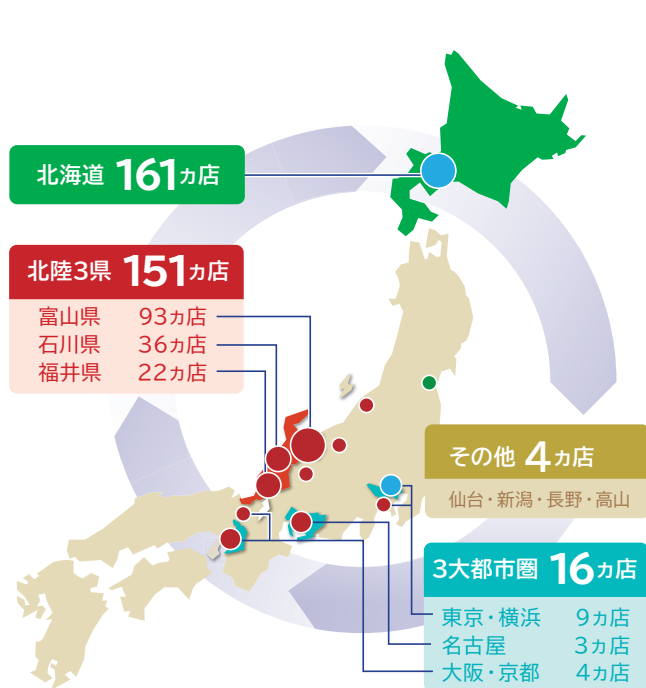
## ■ グループ各社の内容

(株)北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。
(株)北海道銀行	ほくほくTT証券(株)
ほくほくTT証券(株)	証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っています。
(株)北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っています。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務などを行っています。
北銀ソフトウェア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理・回収業務受託などを行っています。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイザ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。



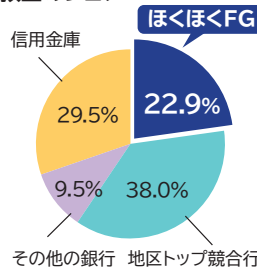
## 広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域地域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域とお客さまの繁栄に貢献していきます。

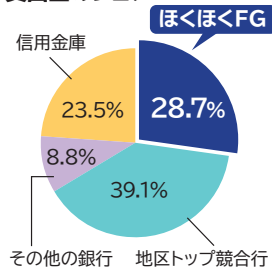


### 北海道内 預金・貸出金のシェア

#### 預金のシェア

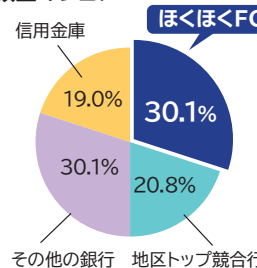


#### 貸出金のシェア

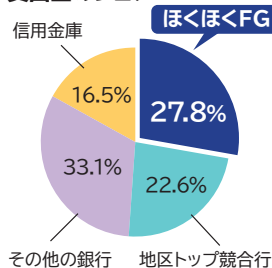


### 北陸三県内 預金・貸出金のシェア

#### 預金のシェア



#### 貸出金のシェア



※シェアは、2023年3月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などより当社にて作成。  
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」シェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

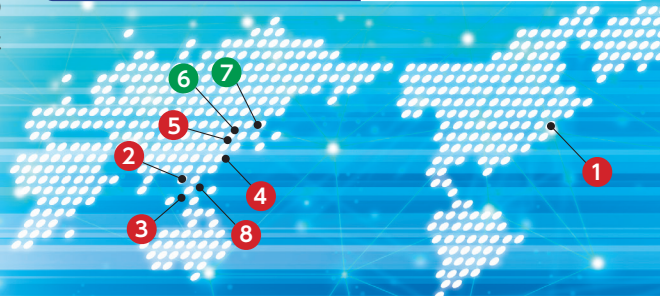
## グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めています。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| ① ニューヨーク駐在員事務所 | ⑤ 大連駐在員事務所      |
| ② バンコク駐在員事務所   | ⑥ 瀋陽駐在員事務所      |
| ③ シンガポール駐在員事務所 | ⑦ ウラジオストク駐在員事務所 |
| ④ 上海駐在員事務所     | ⑧ ホーチミン駐在員事務所   |

海外駐在員事務所 8 拠点

北陸銀行 6 北海道銀行 2



ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG（環境、社会、ガバナンス）や、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）等の視点を踏まえて、CSR基本方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

その一環として「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定しております。

## ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。



2019年4月1日

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
Hokuhoku Financial Group, Inc.

## CSR活動における取り組み重点テーマ

ほくほくフィナンシャルグループでは、常に変化する社会動向や地域社会における重要度にCSR活動を適応させるべく、様々な課題について「地域社会に与える影響度」と「当社グループの企業価値への影響度」を考慮したプロセスを経て、下記の重点テーマを特定しました。

経営理念	重点テーマ
地域共栄	<b>持続可能な地域社会の実現</b> <span style="float: right;">E S G</span> ◆SDGsやESG等の課題を踏まえた建設的対話の促進等による地域金融機関としての責任ある投融資への取り組みやスタートアップ企業や地域における成長企業への積極的な支援を通じた安定的な雇用創出への取り組み、各種自治体やお客さまとの連携の促進により持続可能な地域社会の実現に貢献する
	◆再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷の低減に努める
	<b>地域における金融リテラシーの向上</b> <span style="float: right;">S</span> ◆金融経済教育や金融コンサルティングによりお客さまや子供たちの金融リテラシー向上に取り組み、将来に向けた資産形成や円滑な事業・資産承継を支援する
公正堅実	<b>健全で強靱な経営基盤の構築</b> <span style="float: right;">G</span> ◆ステークホルダーとの対話促進により透明性を高め、ガバナンスの高度化や各種リスク管理の徹底、更なるコンプライアンスの強化により強靱な経営基盤を構築する
進取創造	<b>すべてのお客さまにとっての利便性の向上</b> <span style="float: right;">S</span> ◆先進的ですべてのお客さまがアクセスしやすく安心して利用できる金融商品・サービスの提供を通じて、更なる利便性の向上に努める
	<b>生産性向上に繋がる職場づくり</b> <span style="float: right;">S</span> ◆多様な人材の活躍推進や育児・介護等の両立支援等の働き方改革推進、将来を担う人材の育成を通じ、働きがい・やりがいを持てる職場づくりに取り組む

E … 環境 S … 社会 G … ガバナンス



北陸銀行の取り組みをご紹介します！

北海道銀行の取り組みをご紹介します！



## 持続可能な地域社会の実現



ほくほく  
FG

### 新組織体制の発足

2023年7月、当社グループは、今度重点的に取り組む必要のある人的資本経営の取り組みと中期経営計画の重点戦略の1つであるDXの推進を更に進めるべく、北陸銀行・北海道銀行で各々取り組んでいた業務の一部を当社へ移管し、人事戦略部とDX推進部を新設いたしました。

合わせて2023年4月に新設したSX推進部内にGX推進グループおよび次世代産業支援グループを新設し、カーボンニュートラル及び半導体関連産業を優先テーマに取り組んでまいります。

※7ページに記載の組織体制となっております。

北陸銀行

### 当社グループ初のZEB店舗の新設

2023年4月、当社グループ初となるZEB店舗である北陸銀行野々市支店を新設しました。建物外皮の高断熱化、高効率な省エネ設備導入に加え、太陽光発電設備の創エネにより、最高水準のZEBを実現しております。また、クリーンエネルギー普及促進のために、行用車として電気自動車を導入しております。

店舗内の「ほくぎんプラザ野々市」では、土日祝日もご相談いただける個人向けコンサルティングの拠点として、お客さま一人ひとりの思いや人生に寄り添った、より質の高いサービスの提供に取り組んでまいります。キッズスペース・多目的トイレを完備し、高齢のお客さまやお子様連れのお客さまも安心してご相談いただくことが可能です。

※『ZEB』とは、省エネ+創エネにより従来建物比100%以上の消費エネルギー削減を実現した建築物です。



ほくほく  
FG

### 「ほくほくソーラーパーク」の建設

2023年9月より、北陸銀行、北海道銀行、北海道電力株式会社、北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社の4社で「ほくほくソーラーパーク北海道白糠町」の建設を進めております。2024年春より、北海道内の北陸銀行・北海道銀行の店舗への電力供給を行う予定です。

また、2022年10月より建設を進めていた「ほくほくソーラーパーク富山県大沢野」は2023年8月に完成し、9月より発電される全ての電力を北陸銀行の店舗等で使用しています。脱炭素社会の実現と、地域社会・環境の持続的な発展に向けて、太陽光発電所「ほくほくソーラーパーク」の建設・運営を進めてまいります。



白糠町内への発電所設置イメージ

北海道銀行

### 安平町との地方創生に関する包括連携協定の締結

2023年9月、北海道銀行は安平町との間で、「地方創生に関する包括連携協定」を締結いたしました。また、同行が橋渡し役となり、安平町と株式会社常口アトムとの間で「空き家・空き地調査事業」が展開されております。

安平町の地方創生を実現するため、移住・定住促進及び空き家対策に関する事業やゼロカーボンの推進に関する事業などの実施において、相互の人的・知的資源の活用と交流を通じて、地域経済の発展及び地域社会の活性化を図ることを目的としております。

### ほくほくFG コンソーシアム「Team Sapporo Hokkaido」への参画について

2023年6月、当社は21機関で構成される産学官金からなるコンソーシアム「Team Sapporo Hokkaido<sup>※1</sup>」に参画いたしました。「Team Sapporo Hokkaido」で行われる6つのワーキンググループのうち当社はファンド・ファイナンスワーキンググループ長を務め、成長ステージに応じたファンド、ファイナンススキーム等の

整備や今後取引の本格化が期待されるカーボンプレジット市場等の活性化などさまざまな取り組みを各構成員と連携して進めてまいります。

※1「Team Sapporo Hokkaido」…北海道の有する国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限に活用し、世界中からGXに関する情報・人材・資金が北海道・札幌に集積する、「アジア・世界の金融センター」の実現を目指すコンソーシアム。札幌市、北海道、北洋銀行、当社が共同事務局を務めてまいります。

## 地域における金融リテラシーの向上



### 北海道銀行 2023年度 夏休み親子で銀行体験

2023年7・8月、3年ぶりに対面形式の「夏休み親子で銀行体験」を道内8店舗で開催し、小学生88名が参加しました。

普段「銀行」に接する機会の少ない子供たちを対象に営業店の中の見学や、実際に1億円を触るなど、楽しくお金や銀行について知っていただきました。



## 健全で強靱な経営基盤の構築



### 北陸銀行 日本M&Aセンターの「バンクオブザイヤー」受賞

2023年7月、北陸銀行はM&Aに関する業務提携先である株式会社日本M&Aセンターより「バンクオブザイヤー」、「地域貢献大賞」を受賞しました。

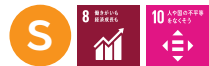
バンクオブザイヤーは2022年度内に最も多くの実績があった提携金融機関1行に授与されるもので、提携金融機関を対象とした賞の中で最高の賞に位置付けられています。北陸銀行は通算で6度目の受賞となります。

### 北海道銀行 地域金融に関する連携について

2023年4月、北海道銀行は中湧別支店を北見支店内に移転し、遠軽信用金庫中湧別支店内に共同窓口および北海道銀行ATMを設置し、2023年7月には、羽幌支店を留萌支店内に移転し、留萌信用金庫羽幌支店内に共同窓口と北海道銀行ATMを設置いたしました。

人口減少が続く地域においてはマーケットの縮小など何れの金融機関も同じ課題を抱えています。持続可能な地域金融機能維持に向けて、地域金融機関との連携も含め様々な可能性を検討して参ります。

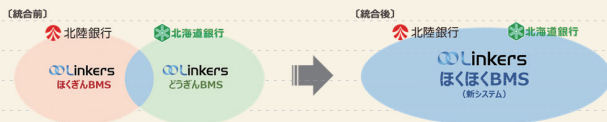
## すべてのお客さまにとっての利便性の向上



### ほくほく FG 「ほくほくビジネスマッチングシステム」の運営を開始

2023年10月、北陸銀行および北海道銀行は、リンカーズ株式会社が開発したビジネスマッチングシステムである「ほくほくビジネスマッチングシステム」の運営を開始しました。

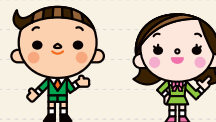
もともと両行で別々のビジネスマッチングシステムを運営・利用していましたが、今回のシステム導入によって、これまで課題となっていた銀行を跨いだ情報連携が可能となり、銀行の垣根を越えてお取引企業さまのビジネスニーズを探し紹介することが可能になりました。



### 北海道銀行 事実婚および同性パートナーの住宅ローン取り扱い開始

2023年8月、北海道銀行は連帯債務者や担保提供者における配偶者の対象に「事実婚の方々」「同性パートナーの方々」を含める取り扱いを開始しました。

近年、地方自治体や企業・団体を中心にLGBTに対する取り組みや理解促進が広がってきております。北海道銀行では、事実婚および同性パートナーに対応した住宅ローンの取り扱いを開始することで、誰もが自分らしく安心して生活することのできる地域社会づくりに貢献してまいります。

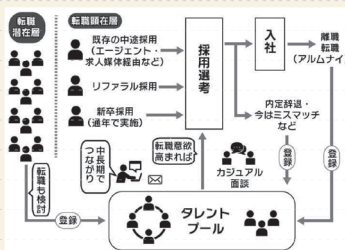


## 生産性向上に繋がる職場づくり



### ほくほく FG タレントプールの構築と新卒採用・キャリア採用の取り組み強化

2023年8月、北陸銀行および北海道銀行は、人的資本経営時代に適した採用を実現するためにタレントプールの構築を開始しました。当社退職者や従業員からの紹介者、新卒採用辞退者などへ、採用情報などを発信することで、応募しやすい機会を整えました。



また多様な人材確保に向けて、再雇用制度を「アルムナイ採用制度」に改め、勤続年数や退職事由、離職期間などの要件を緩和するとともに、従業員が家族や知人を紹介する「リファラル採用」を制度化しました。

### ほくほく FG 銀行業務に生成AIを活用する実証実験を開始

北陸銀行および北海道銀行と富士通株式会社は、生成AIを活用する実証実験を共同で実施します。生成AIは、富士通がAIプラットフォームを通じて提供している対話型生成AIコアエンジンを活用します。

共同実証実験では、北陸銀行・北海道銀行において、行内の問い合わせ対応、各種業務書類の文書生成やチェック、プログラムの作成などにおいて生成AIを活用していきます。本実証実験を通じて三社は、銀行業務における生成AI活用が有効なユースケースを洗い出すとともに、その正確性や効率性、実効性を検証します。



## 「統合報告書(ディスクロージャー誌)2023」を発刊しました

「統合報告書2023」では、当社グループの経営ビジョンや中期経営計画の重点戦略に関する取り組みなどがまとめられています。社長メッセージを充実化し、副社長メッセージとしてサステナビリティメッセージを新設するとともに、財務担当役員メッセージとしてPBR改善の方向性を掲示しております。

加えて社外取締役と社員の意見交換会の様子や、各プロジェクトに取り組む職員のコメントも記載しております。当社グループをより理解いただくための参考になれば幸いです。

- 当社グループホームページに掲載しております。

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/financial/disclosure/>



## 株主総会資料の電子提供制度について

### 1. 株主総会資料の電子提供制度

会社法の改正により、株主総会資料の電子提供制度が開始され、これまで書面でご提供しておりました「株主総会招集ご通知」は、今後、当社ウェブサイト等に掲載する方法に変わります。なお、掲示するウェブサイトのURLや日時・場所等は株主総会を開催する都度書面にてご通知いたします。

### 2. 書面交付請求

引き続き「株主総会招集ご通知」を書面で受領されることを希望される株主様は、株主総会の基準日までにお手続きいただくと、これまでどおり書面にてお受け取りいただけます。

#### 〈書面交付請求のお申し出〉

お取引の証券会社、または当社株主名簿管理人(以下)にて所定のお手続きをお取りください。

株主名簿管理人	みずほ信託銀行 証券代行部		
専用ダイヤル	0120-524-324	受付時間	平日9:00~17:00

決算期	毎年3月31日	
定時株主総会の基準日	毎年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日	
1単元の株式数	100株	
証券コード	8377	
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(プライム市場)および札幌証券取引所	
公告方法	電子公告により当社ホームページ( <a href="https://www.hokuhoku-fg.co.jp/">https://www.hokuhoku-fg.co.jp/</a> )に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
		みずほ フリーダイヤル <b>0120-288-324</b> 受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

## ■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

### ① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> <li>証券会社の口座に記録されている株式・・・口座を開設されている証券会社</li> <li>特別口座に記録されている株式・・・みずほ信託銀行の本店および全国各支店</li> </ul>
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行の本店および全国各支店
支払明細の発行	みずほ信託銀行の本店および全国各支店

### ② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行の本店および全国各支店
------------	--------------------

## ■普通株式年間配当(1株当たり)

(単位:円)

2021年度	2022年度	2023年度 (予定)
35.0	37.0	37.0

普通株式配当につきましては中間配当を見送りとさせていただきます。また、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
Hokuhoku Financial Group, Inc.

**株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ**

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7331

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

**株式会社 北陸銀行**

**経営企画部広報CSRグループ**

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7111

<https://www.hokugin.co.jp/>

**株式会社 北海道銀行**

**経営企画部広報CSR室**

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel: 011-233-1005

<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。  
ベジタブラインキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。